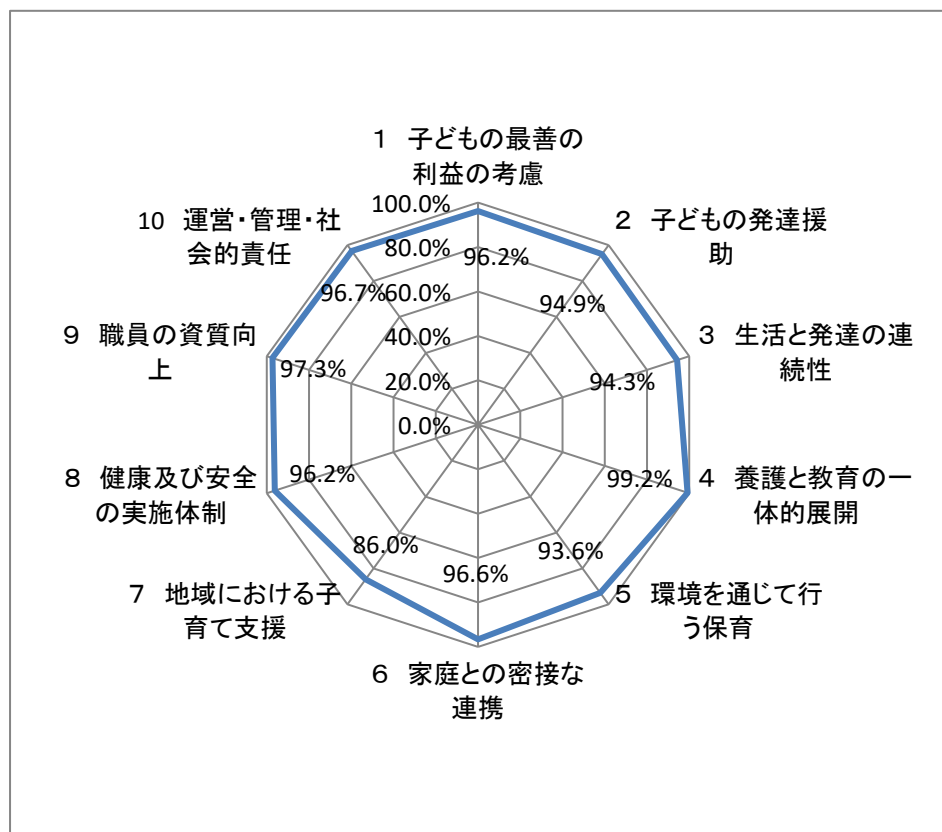


令和5年度 保育所自己評価の結果について

令和6年3月15日

ゆうゆうきッズ横浜

1 職員の自己評価（令和6年2月実施） （「十分理解している」・「理解していると」回答した割合）



2 取り組み状況

（努力した点）

- ・新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、感染防止に努めつつ、行事や日々の保育について、コロナ以前の内容に近づけられるように職員だけでなく園児や保護者の協力を得て進めることができた。
- ・子どもを主体とした視点での保育について今年度の目標とし、職員の主体的な学習や先駆的に取り組んでいる他園の見学などを行い取組を進めた。また、職員による「あそび・食育」各園内委員会活動を充実させ保育実践にいかした。
- ・リスクマネジメント(安全管理・事故防止)委員会で遊具等の安全点検や嘔吐処理、乳幼児対象の救命救急法・AED操作・熱性けいれんの対応、エピペンの使用法などを継続的に学んだ。
- ・令和4年度に防災や安全な保育を目的とし「防災・保育ハンドブック」を作成したが、それを活用し日頃の安全、安心な保育に役立てた。

（課題・改善点）

- ・家庭との密接な関係や地域における子育て支援など「子どものしあわせとお父さんお母さんの子育てを支援します」という当園の保育理念を一層推進していけるよう努力していく。
- ・日々の保育について、新型コロナウイルス以前の保育に戻すだけでなく、子どもを主体とした視点での保育など職員の共通認識のもと、園独自の創意工夫を行い進めて行く。